

令和4年度 西米良村立西米良中学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学 校 の 教 育 目 標		郷土を愛し、心身ともに健康で生き生きと活動する生徒の育成		学校経営ビジョン		保護者や地域の方々、小学校との連携・協働のもとで、知育・德育・体育の充実とその調和を図ることにより、「確かな学力を身に付け、優しさと逞しさを兼ね備えた自立した生徒」を育成する。	
【 4段階評価 A:期待以上 B:ほぼ期待通り C:やや期待を下回る D:改善を要する 】							
評価項目	重 点 目 標	方 策 ・ 手 立 て	自 己 評 価		学校関係者評価		改善策等
			評価	成果と課題	評価	意 見	
1 学 力 の 定 着 と 向 上	(1) 個人に応じた指導の充実	少人数の強みを生かして、きめ細かで効率的な授業を行う。 （指導の個別化・学びの個性化）	A	○ コネクト学習を取り入れることで、授業の内容に重みづけをすることができたり、習熟の時間に費やしたりすることができた。 ○ I C T機器の効果的な活用により、個別最適な学習ができるようになった。 ○ 振り返りシートの活用により、学習内容の定着を図ることができた。 ○ 各教科で諸テストの結果分析を、全職員で共通理解を図るとともに、対策を立てて指導に反映させた。 ○ 定期テスト前に「アフタヌーンスタディ」と題して、生徒がわからないところを教師に質問する時間を設けたことによって、質問しやすい環境をつくることができた。 ● 個に応じた指導の徹底までできず、理解度に差が生じてしまっている。	A	○ 生徒の先生方に対する授業評価が非常に高い。子ども達に対する指導がしっかりとなされていることが分かる。 ○ 生徒アンケートに「先生たちが分からないところを教えてくれる」とあるように、アフタヌーンスタディは、とても効果的である。大人数の学校ではできない取組であり、西米良中ならではのと思うので、今後も継続して取り組んでいただきたい。 ○ 書く力が十分に身に付いていないように感じるということであったが、デジタルとアナログの使い分けを各教科で検討をしていただき、学力向上に繋がる改善をお願いしたい。	○ 習熟の時間を確保するために、工夫や改善をしながら、コネクト学習を取り入れていく。 ○ 各種テストの後に分析を行い、その後の学習指導に生かせるようにしていく。 ○ アフタヌーンスタディの時間を基礎と発展等に分け、テスト前の個別指導の充実を図る。
	(2) 各種テストやアンケートの指導への反映	生徒一人一人のテスト結果やアンケートを活用して、個別指導を充実させる。					
	(3) 家庭での学習方法や学習習慣に関する指導の充実	生徒一人一人の家庭学習の様子を把握して、その質的・量的充実を図る。					
2 豊 かな 心 の 醸 成	(1) 大人数にも対応できる望ましいコミュニケーション能力の育成	学級活動や道徳の時間、総合的な学習の時間、生徒会活動等を通して、自分の意見等を的確に伝えとともに、他者の意見等にも真摯に耳を傾けて調整し、行動に繋ぐ力を育成する。	B	○ 学校行事等を通して、生徒たちのリーダー性や主体性が育まれていることを感じる場面を多く感じた。 ○ 日頃から縦割りの異学年集団を形成し、ボランティア活動や委員会活動の充実と人間関係の醸成を図った。 ○ 先生方に多くの協力を頂きながら、諸事情により登校できない生徒に対して、リモート授業などの対応をした。 ○ 週1回の生徒理解の時間に情報を共有し、日々の指導に生かした。また、アンケートや教育相談を定期的に実施し、生徒の実態把握に努めた。 ● 様々な行事が多く、生徒は常に行事に追われているため生徒会活動が形骸化しつつある。 ● 話し合い活動を充実させることによって、意見を積み上げていくスキルアップを図る指導が必要と感じている。 ● 登校渋りを訴える生徒が出てきているので、寄り添った生徒指導や積極的な生徒指導を行っていきたい。	B	○ 生徒たちは、発達段階においてなかなか難しい時期であるため、更に家庭との連携を図り、生徒への指導や支援をお願いしたい。 ○ 今年は、メラリンピックやイキイキ文化祭が久しぶりに開催され、どちらの行事も生徒や保護者、地域が参加しての行事であり、久しぶりに中学生の頑張りや活躍を見る機会ができたことはよかったと思う。 ○ 立志式で立派な発表を行い、自信に繋がっているとのことなので、成功体験が今後の成長に生きてくるように、指導をお願いしたい。 ○ 登校を渋る生徒もいるとのことであるが、日頃の生徒との関わりやコミュニケーションを今後も大事にしていきたい。	○ 専門委員会を2カ月に1回にして、生徒の負担を減らす。また、生徒会活動や異学年集団での活動の工夫や改善を行い、活動の充実を図る。 ○ 生徒理解の時間において情報を共有し、更に日々の指導に生かせるよう連携を深める。 ○ 家庭との連携を深め、生徒に寄り添った生徒指導や積極的な生徒指導に努める。
	(2) 達成感や自己肯定感(自己有用感)、協調性の向上	体験活動や行事の中で、自分の役割を果たしたり他者と協力する機会を設ける。					
	(3) いじめや不登校の未然防止と的確な初期対応	生徒一人一人の自尊感情(自己肯定感・自己有用感)を高めるとともに、職員の情報共有と行動連携のもとで適切な常時指導や初期対応を行う。					
3 安 全 体 管 理 ・ 健 康 底 の 増 進 と	(1) 望ましい生活習慣や運動習慣の定着	教科や学級活動、保健安全的な行事を通して、食事や運動、睡眠等をバランスよく配分した生活の重要性を理解させ、主体的に実践する力を育成する。	A	○ 学校保健委員会の授業や、食育の授業において、外部の講師に講演してもらうことによって、充実した活動にすることができた。 ○ 社会科や理科など、教科の特性を活かした地震・災害についての学習と土木事務所や消防士の講話を組み合わせることで学ぶことができ、災害についてより深く考えることができた。 ○ 清掃時間等を活用して、校内の施設や用具の安全確認を行った。また、毎月1回、職員による安全点検を行い、事故やけがの未然防止に努めた。 ○ 廊下や階段の掲示物を充実させることによって、生徒たちが意識して行動できるように啓発活動に努めた。 ○ 登校後の手洗いとうがい、消毒を習慣化させるとともに教室の換気を積極的に行い、感染症対策の徹底と自己管理能力の向上を図った。	A	○ 剣道部、ソフトテニス部ともに、中体連等の大会で素晴らしい結果を残している。指導者の方々、部顧問の先生方に感謝したい。 ○ 感染症対策については、これまでの対策を継続して行っていただき、油断することなく今後も指導を継続し、感染症対策の徹底をお願いしたい。 ○ 部活動の制限等がほぼなくなり、これまでの日常生活に戻りつつあるため、学習時間や睡眠時間の減少に繋がっている部分があるかもしれないので、自己管理能力を向上させる指導を引き続きお願いしたい。	○ 感染症に対する意識が薄れないように、参観日や通信等で保護者に呼びかけをしたり、帰りの会などで生徒に振り返りをさせたりする。感染症対策も含め、健康管理や自己管理能力を高められるような指導を工夫していく。
	(2) 安全教育の充実	教科指導や学級活動、避難訓練等を通して、安全に関する的確な知識と行動力を身に付けさせる。					
	(3) 施設設備の安全点検・安全管理の徹底	日常的に危機意識をもって施設設備の管理を行うとともに定期の安全点検を実施して、実態に即した迅速な対応を行う。					
4 る 学 信 校 頼 づ くれ 期 待 に 応 え	(1) 連携と協働による開かれた教育活動の推進	地域の方々の教育力を教育活動に取り入れるとともに、地域に貢献する態度や実践力を育成する。	B	○ 地域学習では、地域の歴史や産業など幅広く学習することができた。その結果、西米良の良さを再発見したり、たくさんの方々が地域に貢献されているのを知ることができた。 ○ メラリンピックやイキイキ文化祭を通して、地域の方々と交流する機会を持ち、地域と連携・協働的に取り組むことによって、生徒の主体性・社会性が高まった。 ○ コンプライアンス研修を実施し、教員の不祥事防止に努め、教職員としての在り方等について再認識し、風通しの良い職場づくりに努めた。 ○ 生徒の活動が伝えられるように、ホームページは随時更新をし、地域や保護者への情報発信に努めた。 ○ 学校だよりや学級通信を定期的に発行し、学校の様子や生徒の様子を家庭に伝え、返信等を通して家庭との連携を図った。	A	○ 校則の見直し等のニュースが、テレビや新聞で話題になっているが、生徒の実態や時代の流れに沿う形で、今後改善が必要な部分については見直しを行っていただきたい。 ○ 学校だよりや学校のホームページから、学校の様子がよくわかるので、今後も継続して発信していただきたい。保護者アンケートに記載されている内容については、各家庭からの意見として、今後に生かしていったほしい。 ○ 「将来は村に帰ってきて仕事をしたい」という生徒が多いということは、大変喜ばしいことである。しかし、将来の西米良村を考えると厳しい面もあるように感じる。	○ 本年度の実践や実績を継続しながら、工夫や改善をして継続して取り組んでいく。
	(2) 学校便りやホームページによる情報発信	学校便りや学校のホームページを通して本校が目指す姿を伝えることで教育の方向性の共有に努めるとともに、学校生活の様子を具体的に伝えて情報を共有し、改善に役立てる。					
	(3) 服務規律の徹底と村民としての自覚	教育公務員としての自覚を強くもって職務を遂行するとともに、西米良村民として相応しい言動に努める。					
次年度の方針性についての校長所見		○ 郷土を愛し、誇りをもち、心身ともに健康で優しさと逞しさを兼ね備えた自立した生徒の育成に努める。 ○ 保護者や地域の方々との連携・協働のもとで、知育・德育・体育のバランスの取れた生徒の育成を更に推進していく。					